

令和3年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会会議録

1 開催日時

令和3年7月12日(月) 午後1時30分～午後3時

2 開催場所

宮沢賢治イーハトーブ館2階 講義室

3 出席者

(1) 委員

出席委員(9名)

大沢正善委員、外山正委員、木村清且委員、佐藤定代委員、浅沼利一郎委員

伊藤賢治委員、小原節子委員、岩田安正委員、多田美和子委員

欠席委員(1名)

中村萬敬委員

(2) 事務局(4名)

市川生涯学習部長、岡村館長、佐々木副館長、晴山主任専門員

4 傍聴者

0名

5 次第

(1)開会

(2)挨拶

(3)会長選出

(4)議事

①令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告

②令和2年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告

③令和3年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画(案)

(5)その他

(6)閉会

6 議事録

各委員の発言要旨は以下のとおり

発言者	発言要旨
佐々木副館長	<p>定刻となりました。</p> <p>本日はご多用中にも関わらず、ご出席いただきありがとうございます。開会に先立ちまして、本日ご出席の委員の皆さまをご紹介します。</p> <p>(以下、委員及び事務局紹介)</p> <p>本日の運営審議会につきましては、委員10名中、9名の委員に出席いただいております。宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第7条第2項に規定する半数以上の委員の出席がございますので、本日の運営審議会は成立することを報告いたします。また、本運営審議会は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則として公開するものであり、会議結果は会議録を含め、花巻市のホームページに公表いたします。会議録につきましては、事務局で作成したものを皆様に郵送し、確認いただいたうえで公開しますので、よろしくお願います。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスクの着用をお願いしておりますほか、会議の途中に窓を開けて換気を行うことがありますので、あらかじめご了承願います。それでは、ただ今から、宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会を開会いたします。開会にあたりまして、岡村館長よりご挨拶を申し上げます。</p>
岡村館長	<p>本年1月に宮沢賢治学会イーハトーブセンター代表理事になりまして、代表理事が館長を兼ねるという慣例に従って2月付で館長になりました。また、宮沢賢治学会イーハトーブセンターの副代表理事2名のうち1名がイーハトーブ館の運営審議会委員となるという慣例に従って、大沢さんに就任いただきました。私も、栗原代表理事の時に副代表理事であった2016年から2018年に運営審議会に委員として参加しました。さて、本日はお忙しいところご参会いただき大変ありがとうございます。直接そちらに伺って皆さんと対面したいと思っていたのですが、東京では4度目の緊急非常事態宣言となりまして、リモートでの参加となりました。昨年度は予想外のコロナ禍ということで、この運営審議会も開催できませんでしたが、本年度開催できたことは非常に意義のあることと思っております。宮沢賢治学会も、昨年度はセミナーや秋の大会にオンラインでの対応ができず開催できませんでしたが、今年はオンラインを取り入れた形で開催する方向で準備が進められているところです。本日はよろしくお願いいたします。</p>
佐々木副館長	<p>続きまして、市川生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
市川生涯学習部長	<p>今日は天気が良いのか悪いのか、こちらは今晴れたところですが、先ほどまで雨が降っておりました。隣の秋田県ではひどい天候のようですが、いつ雨が降り出してもおかしくない中でお集まりいただき、ありがとうございます。館長が話されたとおり、昨年はコロナウイルスの影響で運営審議会を開催できませんでしたが、今年度はその分も含めて報告させていただき、皆さんからの意見をいただきながら進めてまいりたいと思っております。さて、イーハトーブ館の周辺には宮沢賢治記念館や宮沢賢治童話村といった施設がありますが、コロナウイルスの影響で入館者数がかかり減っています。ただ、宮沢賢治記念館については、遠くに行けないということもあってか、近隣の学校の修学旅行が多く来ているようです。宮沢賢治童話村におきましては本年度もライトアップを開催する予定ですが、いろいろなイベントが自粛する、開催しないという状況にあり、宮沢賢治関連施設におい</p>

	<p>ても人を率先して呼べないという状況の中でどのように事業をやっていくのか悩んでいるところです。コロナウィルスが今後どのようなようになっていくか不安な点もあるのですが、ウィズコロナあるいはコロナ収束後を見据えた運営の在り方についてもご意見をいただければと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
佐々木副館長	<p>ありがとうございました。それでは次第の「3. 会長選出」に移らせていただきます。宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項に会長は会議の議長となると規定しておりますが、委員が替わりまして初めての審議会ですので、会長が決まるまでの間、市川生涯学習部長が進行をさせていただきます。市川部長よろしくお願いいたします。</p>
市川生涯学習部長	<p>それでは、少しの間、私が進行をさせていただきます。 これより会長の選出に入ります。選出方法について、ご意見がある方はいらっしゃいますか？ (意見する者なし) 無いようですが、事務局案でよろしいでしょうか？ (「異議なし」との声あり) 事務局では案がありますか？</p>
佐々木副館長	<p>事務局といたしましては、岩田安正委員を会長に推薦したいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
市川生涯学習部長	<p>岩田安正委員を会長にとの案が出されましたが、よろしいでしょうか？ (拍手) ただ今の拍手をもちまして承認とさせていただきます。会長には岩田安正委員が決定いたしました。以降の進行は岩田会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
岩田会長	<p>ただ今ご指名をいただきました岩田でございます。委員の皆さまのご協力をいただきながら務めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。はじめに、副会長の選出に入りたいと思っておりますが、副会長の選出方法はいかがいたしましょうか？ (意見する者なし) 無いようですが、事務局案でよろしいでしょうか？ (「異議なし」との声あり) 事務局では案はありますか？</p>
佐々木副館長	<p>副会長に、木村清且さんを推薦いたします。よろしくお願いいたします。</p>
岩田会長	<p>ただいま、木村清且委員を副会長にとの案が出されましたが、よろしいでしょうか？ (「異議なし」との声あり) それでは、副会長には木村清且委員ということで、よろしくお願いいたします。それでは、次第に従いまして、議事に移らせていただきます。最初に、「(1) 令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告」について、事務局から説明をお願いします。</p>
佐々木副館長	<p>それでは1件目、「(1) 令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告」について説明します。資料は1ページです。はじめに「1 施設整備事業」です。イーハトーブ館は平成4年9月に竣工して以来、今年で29年が経過する建物ですが、平成27年度から平成30年度までの間に屋上防水工事や外壁修繕工事などといった建物自体の大規模修繕を実施しておりまして、近時は施設内の設備更新を中心に実施しています。具体的な実施内容は資料のとおり</p>

ですが、主なところとしましては、展示物の盗難防止や利用者の安全の確保を図るために、1階の展示場や売店部分、2階の図書室の3か所に防犯カメラを設置しました。次に、「2 資料収集・保存・公開」です。令和2年3月31日現在の資料数は、書籍・論文等の図書資料は18,900件で前年度の平成30年度から+35件、DVD や CD などの映像・音声資料は377件で前年度と同数、新聞は19,124件で前年度から+272件となっています。広く一般の方の利用に供していますし、宮沢賢治研究 Annual に宮沢賢治ビブリオグラフィーとして収録しているほか、宮沢賢治学会イーハトーブセンターのホームページに掲載するなど、学会会員の皆さまにお知らせし、利用いただいています。次に、「3 企画展示の開催」です。令和元年度は、2件の企画展を実施しました。1件目の「賢治とゴッホの原風景」は、平成31年4月2日から令和元年6月30日までの期間、2件目の「宮沢賢治・西域地誌」は、令和元年7月2日から令和2年6月30日までの期間、それぞれ実施しました。いずれも、花巻市のホームページのほか、花巻市が発行している宮沢賢治イベントカレンダーに掲載するなどして周知を図ってまいりました。2ページをご覧ください。「4 企画展示関連行事」ですが、企画展「賢治とゴッホの原風景」の関連行事として、大阪国際大学名誉教授の松田司郎さんによる講演会を平成31年4月2日に開催し、10名の方に参加いただきました。次に、「5 第29回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考及び贈呈式」です。ご承知のとおり、受賞者の選考は、宮沢賢治学会イーハトーブセンターとの諮問・答申を経たうえで決定されたものです。宮沢賢治賞奨励賞3名、イーハトーブ賞1名の計4名の方が受賞されました。贈呈式は令和元年9月22日に、なはんプラザにて開催されまして、125名、このうち一般参加者は97名と、多くの方に参加いただきました。3ページをご覧ください。「6 調査研究」ですが、宮沢賢治記念館や宮沢賢治学会イーハトーブセンターの協力をいただきながら行ってまいりました。次に、「7 セミナー・研究会等」です。1つ目の夏休みイーハトーブわくしよっぷは令和元年8月3日に開催され、11名の参加、2つ目の夏季セミナーは令和元年8月3日と4日の2日間にわたって開催され、合計で125名の参加となりました。ページ移りまして、4ページです。3つ目の第29回宮沢賢治学会イーハトーブセンター研究発表会は74名の参加でした。次に、「8 ホール・講義室の活用について」は、4ページから5ページに記載のとおりです。この年には、宮沢賢治記念館のワークショップですとか、宮沢賢治花巻市民の会の定例会といった花巻市の機関や花巻市内の団体の活用のほかに、岩手県や花巻市をはじめとする県内の関係市などで構成された幸せ出づる国いわて実行委員会によるアニメフェスティバルに活用されています。5ページの「9 シャトルバスの運行」は、資料記載の運行日に、1日あたり18回の運行を計25日間にわたって行いました。周辺情報となりますが、4月から11月の期間には、シャトルバスの運行に加えて、交通整理などのために計53日間、のべ181人の警備員を各駐車場に配置し、来館者の安全誘導に努めました。6ページをご覧ください。「10 平成31年度(令和元年度)の入館者数」です。表の中段に太書きにしてお示ししておりますとおり、合計で26,828人となりました。前年の平成30年度は26,085人でしたので、743人増加したことになるのですが、注釈にありますとおり新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和2年3月2日から3月31日までの間は臨時休館となりました。なお、この年はイーハトーブ館に限らず、宮沢賢治記念館や宮沢賢治童話村においても、前年度を上回る入館者数となっています。童話村については、平成19年度以来最高の入場者数となったようです。(1)令和元年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告につきましては以上のとおりです。よろしくお願いたします。

岩田会長

事務局から説明がありました。ご質問、ご意見等をお願いします。

岡村館長	入館者数の増加について、特に宮沢賢治童話村では(平成19年度以降)最高となったようですが、主な要因は何であったと考えていますか？
佐々木副館長	童話村については、童話村の森ライトアップが影響しているものと思われます。この年が初めてのイベントではありませんが大変好評でして、入場者数に影響したものと思います。また、インバウンドですとか新たな人の流れもありましたので、各施設とも誘客のためにいろいろな事業を行っていました。そうしたさまざまな要因が重なって表れた結果であろうと捉えています。
小原委員	2ページにある企画展「賢治とゴッホの原風景」関連行事の参加者が10名となっていますが、少人数の参加にとどまった理由は何でしょうか？興味深い内容なので、開催されることを知っていれば参加したかもしれませんね。
佐々木副館長	確かに興味深い内容のようですし、広報媒体もそれなりに活用したものだと思われませんが伸びなかったようです。原因は測りかねているところです。
小原委員	せっかく大阪から講師がいらっしやっただのにもったいないように感じました。参加者が少なくなりそうな時には、関連団体にも声をかけていただいてもよいかもかもしれません。会員に伝えることができます。
佐々木副館長	小原さんからは以前から、こういう情報を賢治関連団体に直接つないでもらうと動きが出るとお話しいただいておりましたね。
小原委員	ちょっと参加者が少なそうだなという時にはどうぞ声をかけてみてください。会員に声かけをしますので。
佐々木副館長	ありがとうございます。
岩田会長	よい意見だったと思います。ほかに意見はありますか？
外山委員	この企画展「賢治とゴッホの原風景」関連行事について知っていることをお話ししますと、こちらは通常の企画展とは違って松田さんによる持ち込みの企画だったのです。宮沢賢治学会としての企画を行う場合はその予算でやるのですが、持ち込み企画の場合は全部自前でやるといいますか、条件として厳しくなるのです。展示に加えて松田さんがお話をしたいということだったので、結果として周知宣伝を学会全体でやるどころまでうまく対応できなかったという、そういう仕組み上の話なのです。こうしたことを改善するために、地方セミナーなどでは30万円を上限とした補助金もあるのですが、状況によってはそこまで手が回らない場合も出てきます。また、いろいろなところに宣伝する方法を工夫できればよいのですが、ホームページを更新して発信していくというところからと思います。
岩田会長	ほかに意見はありますか？ (声なし) それでは、本件について承認することとしてよろしいでしょうか？ (「異議なし」の声あり) ありがとうございました。本件は承認されました。続きまして、「(2)令和2年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告」について、事務局から説明をお願いいたします。
佐々木副館長	それでは2件目の「(2)令和2年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告」について説明いたします。資料は7ページです。はじめに「1 施設整備事業」については、資料のとおり2件の施設修繕を行いました。また、「2 資料収集・保存・公開」ですが、令和3年3月31日現在の資料数は、書籍・論文等の図書資料は19,031件で前年度から+131件、DVDやCDなどの映像・音声資料は377件と前年度と同数、新聞は19,268件で前年度から+144件となっています。次に、「3 宮沢賢治関連資料の受贈」です。こちらにつきましては、福武書店、現在のベネッセコーポレーションから1986年に初版発行されました童話「やまなし」の絵本の原画作者であります安藤徳香様から、原画12点と初版本30冊を寄贈いただいたものでして、令和3年2月8日から5月31日ま

	<p>での間に開催した原画展につながりました。本日はその原画の一部を展示しています。8ページをご覧ください。「4 企画展示関連行事」です。資料にありますとおり5つの企画展示を行うことができました。次に、「5 第30回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考及び贈呈式」です。宮沢賢治賞1名、宮沢賢治賞奨励賞2名、イーハトーブ賞1団体の計3名、1団体が受賞されました。贈呈式は令和2年9月22日に、なはんプラザにて開催されましたが、コロナウィルス感染拡大防止のため、一般参加はない形での開催となりました。次に、9ページをご覧ください。「6 調査研究」は資料記載のとおりですし、「7 セミナー・研究会等」は、計画しておりました4つの企画は新型コロナウイルス感染拡大防止のために残念ながらすべて中止となりました。また、「8 ホール・講義室の活用について」も、コロナウィルスのために少人数の限られた利用で、主に市の内部的な活用にとどまりました。10ページをご覧ください。「9 シャトルバスの運行」ですが、運行日は7月23日からの夏休み期間と、賢治さんの命日にあたります9月21日前後の計17日間、1日あたり18回運行させて、来館者の利便を図りました。また、周辺情報となりますが、7月から10月までの交通整理等に計38日間、のべ127名の警備員を配置して来館者の安全誘導に努めました。「10 令和2年度宮沢賢治イーハトーブ館入館者数」ですが、表の中段の太書きにしてお示しておきますとおり、合計で15,699人となりました。前年の令和元年度は26,828人でしたので、11,129人の減少、前年度より59%の減です。注釈にあるとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和2年4月1日から5月31日までの間は臨時休館としましたし、コロナウィルスの影響を大きく受けたものと考えられます。(2) 令和2年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告につきましては以上のとおりです。よろしくお願いたします。</p>
岩田会長	事務局から説明がありました。ご質問、ご意見等をお願いします。
木村委員	入館者について、本年度の状況はどうなっていますか？
佐々木副館長	4月は932人、5月は1,412人、6月が1,002人で、3か月間の合計は3,346人となっています。このままのペースで続くとすれば、令和2年度と同じくらいの入館者数となるかと考えられますが、なかなか読みづらい状況です。
浅沼委員	早池峰と賢治の展示館の入館者数は、(コロナ前は)1か月あたり500人から800人くらいだったのですが、今は減少してはいますが1か月あたり200人を下ることはほとんどありません。大型バスでの団体客は少ないのですが、4～5人くらいでの車移動の方が多く、遠くからは北海道や長野県などからもいらっしゃいます。入館者数は減少していますが、一方ではお客さんとお話できる時間もできて、充実した時間を過ごして帰られる方もいらっしゃいます。このような時にいらっしゃるお客さんこそ大切にしたいと思います。
岩田会長	数の問題と、質の問題といますか。
浅沼委員	団体でいらっしゃる方は、滞在時間も短いのです。遠くから2～3人くらいでいらっしゃるお客さんには、1時間から2時間くらいお話しして帰られる方もいます。こういった方は、本当に好きでいらっしゃるの、数日かけて大迫地域を回ることもあります。こういう方を大切にしたいと思うのです。
佐藤委員	中身の濃い方は、遠くからでもいらっしゃるのだから、数よりも中身が大切だと思いますね。本質的なところを考えなければならないと思います。
浅沼委員	先日、旭川からいらっしゃった方から伺ったのですが、萬鉄五郎記念美術館に立ち寄った際にごっかりしたというのです。何故かといえば、館内で子供向けの展示か何かをしていて、子供たちの声が騒がしくて静かに鑑賞できなかったというのです。場所の性格を考えた企画を行うことが大切だと思います。一人一人のお客さんに丁寧に対応することが、今こそ大切だと思います。

佐藤委員	<p>子供たちは、あの紫ツツジを見ながら館山公園のコースを歩いてみてもエネルギーに楽しめたと思います。遠くから来ても、どこがどうって歴史に気づかないことも多いのです。割と地元の人でもそうなのですが、子供連れの方なら美術館なら美術館で、その背景と歴史のことを言ったら喜んでくれると思います。先日、土沢で偶然出会った御夫婦に東和のことを私なりに説明し、翌日には菊池捍邸でイベントがあるからとパンフレットをお渡ししてお誘いしたら、その御夫婦にイベント当日にお会いすることができて大変感激しました。もっとお誘いしてみればいいし、接していると都会の人には花巻の言葉は優しく響くといいます。数の問題ではなくて、そうやって一人一人を大事にしなければならぬと思います。</p>
木村委員	<p>スペースの問題があると思います。今回の菊池捍邸公開でも感じましたけれど、主催者側はいろいろなイベントをしながら多くのお客さんを集めたいと思うものなのです。そうすると、静かに見たい人とイベントを見に来た人とがスペースがないために一緒になってしまいます。これについては、展示物を見に来た方は10時から3時半まで、イベントに参加する方は4時から6時までというように時間分けをして対応しましたが、こうやって分けないままに一緒にやってしまうと、見ているのか、聞いているのかわからなくなってしまうのです。萬鉄五郎記念美術館も、絵本の企画展をやっていますね。おそらく、子供たちに触れさせる機会を何とか設けたいということだったのでしょうが、スペースが少ないので、じっくり見に来た人にとっては、騒がしかったのかもしれないですね。いずれにせよ、何か工夫してやらないと、こういう問題になるのかなと思います。</p>
岡村館長	<p>東京からの視点なのですが、コロナ禍になってから宮沢賢治記念館やイーハトーブ館に行っていないので実態がよくわからないのですが、東京だと第三波あたりから美術館などもオープンするようになって、私も行くことがあります。入る時に体温検査があるとか、紙に名前や連絡先を書くとか、建物内部ではソーシャルディスタンスを監視する人がいるとか、会話をお控えくださいという表示が出ていて、多少煩わしくもありますが、そういうところをしっかりやっているところ、チラシとかホームページで周知しているところは行きやすい、逆に言うと安心感があります。コロナ禍がどのくらい続くのかはわかりませんが、こういう対策をしっかりとやっていることを出すことが重要かと思います。</p>
岩田会長	<p>来館する方々への対応の仕方についてのこういう問題は、今まであまりなかったことかもしれませんね。これから大いに勉強しなければならないと思いますね。</p>
小原委員	<p>萬鉄五郎記念美術館については、私もボランティア監視員になっているのでよく行くのですが、萬鉄五郎を常時見られる2階の奥の部屋は落ち着いて見られるはずですが。その時はたまたま絵本の企画をやっているために、子供たちが来て騒がしかったのでしょうか。小さな美術館ですが、いつもは落ち着いて、静かに見られる場所です。誰か係りの人に言っていただければよかったのですが……。</p>
浅沼委員	<p>言ったようですが、対応した人はさっと引っ込んでしまって、館長さんみたいな方に言ったそうです。帰るときに萬記念館の関連の書籍なども探したけれど何もない、一枚のチラシを持ってきただけ。その方は、大迫に3日も4日も滞在して、旅費をかけてせっかくいらしたのに、このような対応をされたことにごっかりしたようです。</p>
小原委員	<p>館の対応は悪かったかもしれませんね。その時は、たまたま子供たちが騒いでいたという時間帯だったのかもしれませんが、今日はこういうことで子供たちが来ていて騒がしいのですが2階は静かに見られますとか、一言あったらよかったかもしれません。1階にはいろいろな美術館の案内ですとか、本などが置いているのですけど。</p>

木村委員	絵本の作者もいらしていたようで、混雑していたようですね。
市川生涯学習部長	そうですね。7月10日の土曜日に宮西さんという有名な絵本作家の展示が始まりまして、それまでは通常展示で静かな美術館なのですけれども、全館それに変えるのです。企画展をやっていることをご存じなくいらっしやっただと思うので、そういうところがきちんと発信できていれば、その時の館の状況をご理解いただいたかもしれません。そのあたりをきちんとやっていたらよかったと思います。大きな美術館ではないですが、都会でもやっている巡回展で、著名な作家の作品を苦勞して展示して、地元の子供たちに紹介したいという趣旨で開催したと思うので、そこはやはり美術館の努力があったと思います。うまくいかなかった部分については、気をつけたいと思います。ありがとうございます。
岩田会長	それでは、本件について承認することとしてよろしいでしょうか？ （「異議なし」の声あり） ありがとうございました。本件は承認されました。続きまして、「(3) 令和3年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画(案)」について、事務局から説明をお願いいたします。
佐々木副館長	それでは、「(3) 令和3年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画(案)」について説明します。資料は11ページです。はじめに「1 施設・設備整備事業」は、資料のとおり4件の施設・設備の更新や修繕を行うこととしています。現時点では、アプローチ・通路床補修を除いたすべてが実施済みです。次に、「2 資料収集・保存・公開」ですが、引き続き、宮沢賢治記念館や宮沢賢治学会イーハトーブセンターのご協力をいただきながら進めたいと考えています。「3 企画展示の開催」は、宮沢賢治学会イーハトーブセンターに委託して開催しているものですが、資料のとおり5件を企画し、1番目の安藤徳香「やまなし」原画展は実施済み、2番目の「東日本大震災の記憶・陸前高田」については8月4日を最終日として開催中です。残る3件についても、詳細が定まり次第、情報発信に努めてまいります。「4 第31回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の選考及び贈呈式」については、本年度の受賞者の決定に向けて、宮沢賢治学会イーハトーブセンターにご協力をいただきながら選考作業が進められています。贈呈式は令和3年9月22日に、なはんプラザにて開催される予定です。「5 調査研究」は、本年度も宮沢賢治記念館や宮沢賢治学会イーハトーブセンターのご協力をいただきながら進めたいと考えています。12ページをご覧ください。「6 セミナー・研究会等」は、4つの企画を計画していますが、1件目の東日本大震災10周年特別企画講演会は、去る6月19日に一般社団法人「陸前高田被災地語り部」くぎこ屋の釘子明さんを講師にお招きして開催し、50人の参加がありました。他のセミナー等については、詳細を調整中のもものありますが、定まり次第、随時情報発信に努めてまいります。「7 その他の事業・会議等」のホール・講義室の活用については、コロナウィルスの感染拡大状況に注視しつつ、状況に応じた対応していかざるを得ない状況です。安全対策を徹底し、できることについて対応したいと考えています。(3) 令和3年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画につきましては以上のとおりです。よろしくをお願いいたします。
岩田会長	事務局から説明がありました。ご質問、ご意見等をお願いします。
外山委員	イーハトーブ館のトイレは和式だったと思います。トイレの洋式化ですとかバリアフリーといった大がかりなものについては、補助金の活用を検討するなど、長期的な計画を立てて対応する必要がありますので、今のうちに準備しておいたほうがよいと思います。また、ホールのステージ袖が物置になっているとか、外の仮設のプレハブの物や図書室の本がだんだんと増えていくことについても気になっていまして、今のうちから考えておく必要があるかと思えます。

佐々木副館長	ご指摘ありがとうございます。トイレについては昨年度にすべて洋式化しました。また、資料の保管場所については、今後考えていかなければならないところです。この後に報告しようと思っていたのですが、本日は会場内に滝田恒男さんという平成6年度のイーハトーブ賞奨励賞を受賞された方から寄贈いただいた絵画を展示しています。滝田さんについては、ご存知の方も多いかとは思いますが、今回展示している絵画を加えて100点寄贈いただきました。すべて賢治さんゆかりの地をスケッチしたもので、素材はすべて成島和紙です。100点もの作品をいただくとなると、保存をどうするかということになりますが、外山委員のおっしゃるとおり当館ではスペースが足りなかったため、萬鉄五郎記念美術館の収蔵庫に保管することにしました。6月議会で収蔵スペースの改修にかかる予算がつきまして、本年中に完成する予定です。安藤徳香さんから寄贈された分を含めて、絵画についてはきちんと保管できる場所に保管します。
小原委員	100点もの作品を寄贈されるのですね。
佐々木副館長	そうですね。
佐藤委員	イーハトーブ館に保管されている資料を閲覧にいらっしゃる方はどんな人で、何人くらいいらっしゃるのでしょうか？実際の状況を知りたいのです。
浅沼委員	そうですね。実際どのくらいいるもののでしょうか？若い方は、まずはスマホで検索して、スマホで検索できないようなことを探しに現地に来るようで、早池峰と賢治の展示館にいらっしゃる方もそういう方が多いようです。今の子供たちは情報がたくさんありますので、読み聞かせにしてもこれまでのようなやり方では伝わらないようです。絵本の原風景となったであろう場所などを、私が撮った写真を見せながらお話をするととても喜ばれます。そういった工夫が必要だと思います。
佐々木副館長	ただいま確認いたしましたところ、令和元年度は329人いらっしゃって、レファレンスは201件、令和2年度は127人いらっしゃって、レファレンスは300件、今年は今のところ21人いらっしゃって、レファレンスは76件となっています。
浅沼委員	スマホでは検索できない資料もここにはあるでしょうからね。件数は総体的に少なくなってくるのですが、実際に役に立つものなのでしょうし、よいと思います。
岩田会長	今後の問題となることは何かということをはっきりとすることがこの運営審議会の一番の目的だと思います。また、賢治さんについて、どういうことを子供たちに伝えていくかを話し合われていくことも大事なのだと思います。そういう意味で、本日はいろいろな話が出たのはよいことだったと思いますし、今後に大いに参考にしてほしいと思います。ということで、本件について承認することとしてよろしいでしょうか？ （「異議なし」の声あり） ありがとうございました。本件は承認されました。ほかに全体的に何かご意見などございますか？
伊藤委員	前段の事業報告の中で、令和元年度に防犯カメラの設置をしていただいたことには感謝申し上げます。この設置によって防犯上の安心安全が確保されたと思います。
浅沼委員	イーハトーブ館のことではないのですが、記念館でやっているセミナーは（内容的に）難しいと思います。もっと地元の人がやったほうが良いと思います。学会の人たちは賢治さんをわかっている前提でお話されますが、先日ある中学校に行った時には、早池峰山を登ったこともなければ、賢治さんに大して関心もなく、銀河鉄道の夜くらいしか知らないといった様子の生徒もありました。

佐藤委員	例えば早池峰山は途中までもよいから登ってみたほうが良いと思います。五感で感じて体験することが、本当にわかった、学習したということだと思います。
外山委員	気候変動で、最近では集中豪雨により熱海で土砂災害が発生しました。胡四王山は南斜花壇など造成していますが、1時間に100ミリを超えるような降雨となることはどこにでもあり得ることなので、そうした場合の安全性について点検しておいたほうがよいかもしれません。最低限ハザードマップを調べておいてほしいと思います。
佐々木副館長	ありがとうございます。確認しておきたいと思います。
岩田会長	ありがとうございました。以降は事務局お願いします。
佐々木副館長	岩田会長、委員の皆さま、ありがとうございました。本日いただいたご意見は今後の宮沢賢治イーハトーブ館の運営に活かしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。 それでは、以上をもちまして、宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会を閉会いたします。皆さま、ありがとうございました。